令和５年１２月定例会　諸般の報告　開会挨拶【１２月１２日】

皆様おはようございます。
本日、ここに議員各位の御参集をお願い申し上げ、令和５年第６回江田島市議会を開会するに当たり、御挨拶を申し上げます。
議員各位におかれましては、平素から市政運営に対し、格別の御理解と御協力をいただきまして、深く感謝申し上げます。
また、市民の皆様には早朝から、議会の傍聴にお越しをいただき、心から御礼を申し上げます。ありがとうございます。

早いもので師走となりました。光陰矢の如しとはよく言ったもので、歳を重ねるにつれて、月日が経つのが本当に早く感じられるようになりました。
１年を振り返ってみますと、良かったこと、悪かったこと、できたこと、できなかったことなど、様々なことがあります。
この４年間は、新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの皆様が大変な思いをされる中、お互いに支え合い、励まし合いながら、年の瀬を迎えました。

今年は、新型コロナが５類に移行され、初めて迎える年末年始となります。
こうした平穏な年の瀬を迎えられるのは、市民や事業者の皆様が、辛抱強く感染防止対策に御協力をいただいたこと、そして、医療従事者の皆様を始め、関係者の皆様が、与えられた役割を誠実に取り組んでいただいたお陰だと思っております。改めまして、関係各位の方々に、敬意を表しますとともに、心より感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

まちの話題に目を向けて見ますと、１１月２５日にＴＳＳで放送された、「村重杏奈（むらしげあんな）のおさんぽ旅」という番組を御覧になられたでしょうか。非常に明るく、親しまれるキャラクターである 元 ＨＫＴ４８（エイチ・ケー・ティー・フォーティーエイト）の村重杏奈さんが、秋晴れの下、江田島市を舞台に「島のみんなとマブダチになりたい！」と言って、元気いっぱいに島の人たちと触れ合う番組でした。

能美町でのカキ打ち体験に始まり、江田島町では秋月のカキの加工場オイスターファクトリーを訪れ、カキ料理をしっかりと堪能されました。
また、おなかを満たした後には、沖美町でのオリーブの収穫を体験し、大柿町では、大古小学校の子どもたちと、飛渡瀬のくじら堂では、おじいちゃん・おばあちゃんたちと、交流を深められ、本当に心温まる番組となっていました。

江田島市の素晴らしい景色や、島の人の温かさが視聴者の皆様にも伝わり、そして、市民の皆様にとっても元気を頂ける番組であったように感じました。
番組の中では紹介されていない、江田島市の魅力はまだまだたくさんありますので、これを機会に多くの皆様に江田島市を訪れていただき、大いにまちを盛り上げていきたいと強く感じたところでございます。

さて、本市におきましては、新年度予算編成の作業に着手したところでございます。御承知のとおり、本市最大の課題である人口減少の抑制につきましては、待ったなしの状況となっております。

新年度となる令和６年度は、市政２０周年という節目を迎える年であると同時に、合併の恩恵でもある合併特例債が活用できる最終年度でもあり、本市にとって重要な転換点になると考えております。

現在策定中の「第３次江田島市総合計画」においては、次なる１０年を見据えた全体ビジョンの作り込み作業が大詰めを迎えております。
新年度の予算編成に当たりましては、それぞれの事業を一つ一つ精査し、成果志向を基本に、選択と集中を進めることで、持続可能な財政基盤の確立に取り組んでいきたいと考えております。

そうした中、先月末に国会で可決されました「デフレ完全脱却のための総合経済対策」における、「重点支援地方交付金」につきましては、本定例会会期中に追加議案として、補正予算をお願いし、速やかに市民の皆様の生活を下支えしていく必要があると考えております。

不安定な国際情勢を背景とした、原油価格や物価の高騰による家計への影響は極めて大きく、当面明るい兆しは見えてこないと推測しております。
引き続き、市民の皆様の生活に寄り添い、事業者の皆様の力をお借りしながら、まちの活性化につながる取組を加速させるとともに、事業内容によっては、部局間の垣根を超えた情報の共有と、横断的な取組にも職員一丸となって取り組んでまいります。

今後も、社会経済情勢を見極めながら、市民の皆様の福祉の向上のため、多様化する市民のニーズにしっかりと対応してまいりますので、議員各位の一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

さて、今議会では、江田島市乳幼児等医療費支給条例の一部改正など、市民の皆様の生活に関わる重要案件につきまして御審議をお願いすることといたしております。何とぞ十分な御審議をいただき、議決を賜りますようお願いを申し上げます。１０月開会の臨時会以後の市政の主な事柄につきましては、市政報告書のとおりでございます。よろしくお願いいたします。

以上で、報告を終わらせていただきます。

（７分００秒）